

市内城跡の観光資源としての活用について

提案内容	<p>昨今のお城・城郭ブームの盛り上がりにより全国の大小様々なお城によってPRが行われております。</p> <p>お城好きな方がよく見ているサイトで雲南市内においても三笠城、高麻城などが紹介されております。</p> <p>また歴史ゲーム内で三刀屋城が登場するなど、全国的に知名度のあるお城が市内には観光資源として沢山眠っている状態です。</p> <p>冒頭で申した通り、全国の各自治体では地元の城跡をPRの材料、観光誘致に活発に活用しています。</p> <p>直近の県内の例としても石見銀山まわりのお城で城跡を使ったPRイベントがありました。</p> <p>これらの城跡では神社の『御朱印』になぞらえて、城名を印刷して『御城印』という形でお土産として販売しています。</p> <p>それら御城印はお城ファンにとっては訪城した記念品であり、コレクターにとってはご当地に足を運ぶ主目的にもなっています。</p> <p>また自治体によってはその『御城印』の特別版を作成して、ふるさと納税限定の返礼品として発送していたりもします。</p> <p>私見として新しい観光資源の発掘と、ふるさと納税による税収アップを目的として『御城印』を制作することを提案します。</p>
回 答	<p>雲南市内の城址は、地域の協力などによって草刈りなどの管理が行われ、お城好きな方に訪れていただいております。</p> <p>お城の活用につきましては、今年度、三刀屋地区の地域自主組織が三刀屋城を活用し地元へ向けた情報紙の発行や「三刀屋城絵画コンテスト」などを企画されています。「絵画コンテスト」の実施にあたっては優秀作品を活用し「城めぐりスタンプ」を作成され、多くの方が三刀屋城を訪れ交流を創出するという事業展開を目指されているところです。こういった地元が主体となった観光資源活用の取り組みを雲南市としても一緒に盛り上げていき、広がっていくことを期待しているところです。</p> <p>雲南市で「御城印」を作成しふるさと納税の返礼品とすることは、地域でのお城活用の取り組みをふまえ研究をしていきたいと考えております。また、今後「御城印」を作成販売される団体等がありましたら、ぜひふるさと納税の返礼品として登録いただき、雲南市への関心を高めることにつなげてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(回答部署：産業観光部観光振興課)</p>